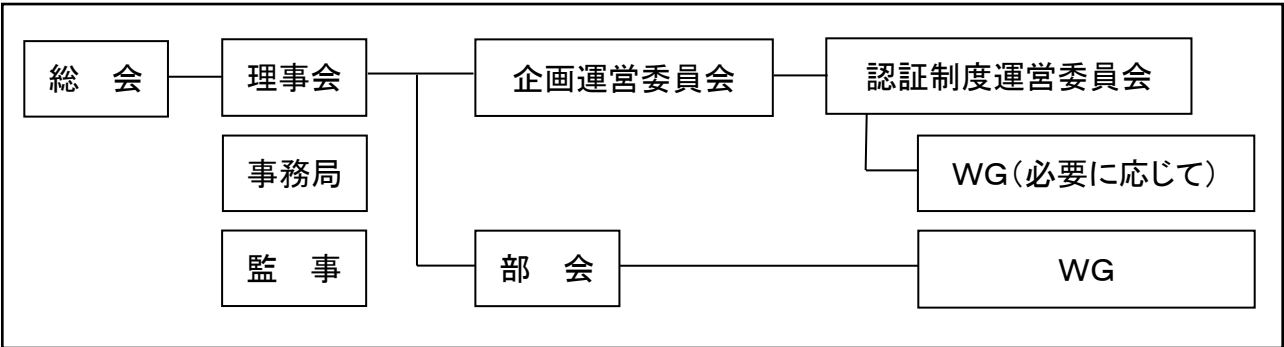


令和6年度 事業報告

1. 事業報告

(1) 組織



(2) 役員構成

理事長	吉田 篤正（大阪府立大学 名誉教授・早稲田大学 教授）
副理事長	増田 昇（大阪府立大学 名誉教授・LA まちづくり研究所 所長）
理事	竹林 英樹（神戸大学大学院 准教授） 西村 伸也（大阪市立大学 名誉教授） 松浦 信一（大阪ガス株式会社 エネルギーソリューション事業部 計画部 環境・政策チーム マネージャー） 山田 理正（関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 環境マネジメントグループ チーフマネージャー）
監事	田村 友宣（大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 課長） 河合 祐藏（大阪市 環境局 環境施策部 部長）

（令和7年3月31日時点、敬称略）

(3) 活動実績

(1) 理事会及び総会の開催

第1回理事会（令和6年6月13日）及び総会（書面）（令和6年6月28日）を開催し、理事及び監事の選任、令和5年度の事業報告及び収支決算、令和6年度の事業計画（案）及び収支予算（案）、大阪 HITEC の今後の方針（案）について議論し、承認を得た。

第2回理事会（令和7年3月5日）及び臨時総会（令和7年3月27日）を開催し、2025年度以降の大阪 HITEC の取組み（案）について議論し、承認を得た。

(2) 企画運営委員会の開催

第1回企画運営委員会(令和6年5月27日)では、総会に付議すべき事項、令和6年度ヒートアイランド対策技術セミナー、令和6年度シンポジウムについて審議した。

第2回企画運営委員会(令和7年2月6日)では、2025年度以降の大阪 HITEC の取組み(案)など臨時総会に付議すべき事項、令和7年度ヒートアイランド対策技術セミナーについて審議した。

(3) 認証制度審査委員会の開催

第1回認証制度審査委員会(令和7年3月13日)を開催し、SPACECOOL 株式会社より申請されたヒートアイランド対策技術(屋根用高日射反射率フィルム)について、認証可否を審査した。審査の結果、「認証可」となり、認証後の広報媒体における掲載内容や認証製品の対象範囲などについても、本委員会で審議した。

(4) WGの開催

モデル街区WG+空間評価WG・合同WGは計2回、都市デザインWGは計5回、排熱低減WGは計2回、技術評価WGは計5回開催した。

(5) ヒートアイランド対策技術セミナーの開催

「ヒートアイランド対策技術を活用したクールスポットの創出と評価」をテーマとして、令和6年度ヒートアイランド対策技術セミナーを1回開催した。

■開催日時：令和6年7月11日(木) 13時30分から16時

■開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)及び会場

(会場：おおさか ATC グリーンエコプラザ セミナールーム)

■内 容：「ヒートアイランド対策技術を活用した整備事例について」

講演：鈴木慎氏(株式会社いけうち ノズル事業部 大阪営業所 課長)

「大阪府における都市緑化を活用した猛暑対策事業の紹介」

講演：尾上律子氏(大阪府 環境農林水産部 みどり推進室)

みどり企画課 総括主査)

「都市緑化を活用した猛暑対策事業の民間企業による実績」

講演：辻和宏氏(大和リース株式会社 大阪本店環境緑化営業所 営業所長)

衛本梨紗氏(大和リース株式会社 大阪本店環境緑化営業所)

「クールスポットにおける WBGT 低減効果の相対比較」

講演：鍋島美奈子氏(大阪公立大学大学院 教授)

「パネルディスカッション」

コーディネーター：増田昇氏(大阪府立大学 名誉教授・

LA まちづくり研究所 所長)

■参加者：46名(オンライン32名、会場14名)

(6) 公開シンポジウムの開催

電力需給のひっ迫や熱中症被害などが社会問題となっている夏季の温暖化対策に焦点を当て、「夏の暑さ対策と省エネ・カーボンニュートラルについて考える」をテーマとした公開シンポジウムを開催した。

■開催日時：令和6年9月4日（水）13時30分から16時50分

■開催方法：会場（大阪公立大学文化交流センター ホール）

■内 容：「脱炭素に向けた国の政策動向と企業向け支援策」

講演：藤田力氏（近畿経済産業局 資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進室）

「夏季における大阪の気候変動と将来予測及びその影響」

講演：田中秀和氏（大阪管区气象台 地域防災推進課）

「建物の省エネ・カーボンニュートラルと快適性の両立」

講演：坂口佳史氏（株式会社竹中工務店 スマートコミュニティ本部）

「温暖化時代におけるエアコンの役割と省エネ・カーボン
ニュートラルに向けた取り組み」

講演：松場英樹氏（ダイキン工業株式会社 空調営業本部）

「関西電力の水素社会実現に向けた取り組み」

講演：水田真夫氏（関西電力株式会社 水素事業戦略室）

「大阪府におけるヒートアイランド対策と関連施策の取り組み紹介」

講演：岡野春樹氏（大阪府環境農林水産部）

「パネルディスカッション」

コーディネーター：西村伸也氏（大阪市立大学 名誉教授）

■参加者：73名

(7) 活動内容の周知

ニュースレター『大阪 HITEC NEWS vol.21』を令和7年3月に発行した。

(8) ホームページの充実

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの活動成果などについて、随時、情報を更新した。

(9) ヒートアイランド対策技術認証制度に関する広報

ヒートアイランド対策技術認証制度で新たに認証された「SPACECOOL フィルム」（対象技術：屋根用高日射反射率フィルム）について、リーフレット及びホームページに情報を掲載し、広報を行った。

(10) コンソーシアムなどの認知度・ブランド力の向上

日本ヒートアイランド学会（令和6年9月27日から9月29日）に出展し、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの最近の主な取り組みや、ヒートアイランド対策技術認証制度などのPRを実施した。

【モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG】

モデル街区WG主査：竹林英樹（神戸大学大学院 准教授）

空間評価WG主査：吉田伸治（奈良女子大学大学院 教授）

1. 令和6年度の事業内容

- ・神戸大学の校舎内においてミスト噴霧の実験を実施し、暑さ対策効果のシミュレーションを行い、ミストの設置状況、気象条件、利用条件と温熱環境改善効果の関係を分析して、実街区への導入に向けた指針を検討した。
- ・群衆の周辺微気候に与える影響分析のためのパラメトリックスタディの実施計画を検討した。

2. 令和6年度の活動状況

第1回 令和6年6月25日

第2回 令和7年3月28日

3. 事業計画における今後の方針

- ・ミスト噴霧による暑さ対策効果のシミュレーションに基づき、ミストの設置状況、気象条件、利用条件と温熱環境改善効果の関係を分析して、実街区への導入に向けた指針を整理する。
- ・群衆の周辺微気候に与える影響分析のためのパラメトリックスタディを行う。得られた結果を基に群衆と周辺微気候の形成機構に関する知見を整理する。

【都市デザインWG】

都市デザインWG主査 鍋島美奈子（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和6年度の事業内容

- ・大阪府の都市緑化を活用した猛暑対策事業（補助事業）では、令和2～5年度に新たに135か所のクールスポットの整備が行われ、補助を受けた事業者が自ら計測したWBGTデータが公表されている。それらの暑熱対策効果に関するデータを分析し、整備箇所の順位付けが可能か検討を行った。その結果、大阪管区气象台で計測されている、乾球温度、湿球温度、黒球温度を用いて評価基準をつくることで、ランク分けが可能であることを示した。
- ・この評価基準を用いると、大阪府内のクールスポットをWBGTの実測データを用いてランク分け（たとえばA～Cランク）することができ、質の高いクールスポットの普及に寄与する。
- ・WBGTを用いたクールスポットの評価方法の課題を整理し、運用方法の指針を示した。

2. 令和6年度の活動状況

第1回 令和6年5月27日

第2回 令和6年6月27日

第3回 令和6年10月25日

第4回 令和6年12月23日

第5回 令和7年3月25日

3. 事業計画における今後の方針

これまでの成果のとりまとめを行う。

【排熱低減WG】

排熱低減WG主査 西村伸也（大阪公立大学 客員教授（大阪市立大学 名誉教授））

1. 令和6年度の事業内容

第1回 WG では、排熱低減 WG 企画の「公開シンポジウム」の講演テーマ・講師選定について議論した。加えて、大阪 HITEC の今後の方針について意見交換を行った。

第2回 WG では、データセンターについて、外部から空調専門家を招き、講演していただくとともに意見交換を行った。

また、企画した9月4日の公開シンポジウムでは、本WGの構成員による講演やパネルディスカッション等を行った。

2. 令和6年度の活動状況

第1回 令和6年6月4日

第2回 令和7年2月7日

3. 事業計画における今後の方針

- ・人工排熱の大気熱負荷削減方法に関する情報収集・調査、ならびに検討・広報。
- ・未利用熱・排熱などの活用に関する情報収集・調査ならびに検討・広報。
- ・地球温暖化防止対策としてのカーボンニュートラルに関する諸施策がヒートアイランドに及ぼす影響の評価。2024年度に引き続いて企業、行政などからの話題提供を企画。
- ・ヒートアイランド対策の短期、中期および長期スケールにおけるロードマップの作成。
- ・関西大阪万博における空調・省エネ技術の調査。
- ・地球温暖化対策ならびにヒートアイランド対策としての人工排熱低減の課題について

【技術評価WG】

技術評価WG主査 西岡真稔（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和6年度の事業内容

- ・日除け、ミスト、その他街区における人への熱的負荷軽減に資する技術を対象に、性能評価方法を検討した。
- ・ミスト効果の試験方法を立案し、夏季の実測において、試験方法を試行した。
- ・日除け評価（市販の WBGT 指数計による）とミスト評価の性能評価方法を文書化した。

2. 令和6年度の活動状況

第1回 令和6年5月27日

第2回 令和6年6月27日

第3回 令和6年10月25日

第4回 令和6年12月23日

第5回 令和7年3月25日

3. 事業計画における今後の方針

これまでの成果のとりまとめを行う。

【熱負荷評価手法WG】

熱負荷評価手法WG主査 芝池英樹（京都工芸繊維大学 准教授）

1. 令和6年度の事業内容

- ・開催実績なし

2. 令和6年度の活動状況

- ・開催実績なし

3. 事業計画における今後の方針

- ・認証制度の対象となる技術の変更等が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーションツールに据えて、入力パラメータの調整や入力条件の整備等についての検討を行う。